

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



# 豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第50号 R3. 7. 15

## 第3回 通学路等安全対策部会・PTA部会を開催しました

東地区の通学路等安全対策部会、PTA部会の2つの部会で3回目の会議を開催しました。

### 【通学路等安全対策部会】

○第3回：6月29日実施 豊能町役場

「製材所裏の道路について」「通学方法について」「危険箇所について」の協議・検討を行いました。

#### 各委員からの意見（一部抜粋）

- ・ 製材所裏の道は通学路として推奨されていないため、何かあった場合、保険の適用外になる。
- ・ 希望ヶ丘では、班ごとに登校の仕方を決めることになっている。
- ・ 2丁目の交差点まではまとまってきているようだ。
- ・ 「5・6年生の指導力を高める」「1年生が心配」ということであれば、一定期間登校班で登校するという事はできないか。
- ・ 地区によって、登校の仕方が違うのに、「登校班で行きなさい。」とは言いにくい。登校班の意味がないのではないか。
- ・ 1～6年生が学校まで一緒に登校する方向で、地区委員と協議する場を設定してはどうか。

### 【PTA部会】

○第3回：7月4日実施 豊能町役場

6月に実施した保護者アンケートの結果を受け、PTA組織と役員数について、再度協議・検討を行いました。

#### 各委員からの意見（一部抜粋）

- ・ 回収率はどれくらいだったのか。
- ・ PTAは、ボランティアである。今は、強制になっている。
- ・ 役員をするのは拒むが、活動には非常に積極的に参加される方もいる。保護者の方々が参加しやすいようにしていきたい。
- ・ 他の自治体では、PTAへの加入の意思が確認されている。
- ・ 組織そのものを廃止にしてはという意見もあるが、町として、一つになろうとしているのに、PTAをなくすというのはどうか。PTAをなくすのではなく、みんなが参加しやすい組織にするという考え方で進めていきたい。
- ・ ポイント制は維持しておいた方がよい。
- ・ どの学年から役員を出すのかを、説明会で提案できるようにしたい。

部会では、今後も、アンケートを実施したり、話し合いの場を設けたいし、保護者の皆様の意見を取り入れながら進めていきますので、ご協力よろしくお願いします。



## 「第2回 東能勢中学校区学校運営協議会設立準備委員会」開催

7月8日、第2回東能勢中学校区学校運営協議会設立準備委員会（準備会）を開催しました。緊急事態宣言が解除され、昨年10月以来の集合開催となりました。

今回の内容は以下の通りです。

1. 東能勢中学校区小中一貫教育校開校に向けた改修工事について
2. 東能勢中学校区保幼小中一貫教育の進捗状況について
  - ①通学路等安全対策部会より報告
  - ②PTA部会より報告
3. 保護者説明会での説明内容の確認

◆顧問の小松先生からご助言頂きました。

今、急激に子どもが減り、子育てが大変になっています。親の孤立など、学校や子育てについて、親同士が話をする場がなくなってきています。子ども達の学びは、家庭だけでも学校だけでもなく、どちらの立場から見てもよい学習環境を提供することが必要な時代になっています。

国では、協働的な学び、個別最適な学びが大切と言われています。子育てにおいても、それぞれの家庭での個別最適な子育ても大切です。そして、保護者の皆様が協働的な子育てをできるように考えていくことが大切です。



## 「とよの未来科」創設にむけて ～ふるさと♡とよの⑩～

### 【国蝶オオムラサキの放蝶】

6月28日、吉川保育所の子どもたちが、地域の向井さんと小嶋さんに案内していただき、初谷川でオオムラサキを放蝶しました。今年は、例年より2週間も早く羽化したそうです。



蛹の抜け殻に夢中！

「ぼくの手にもものせて！」

「こしょばいなあ！」

初谷川の入り口にあるオオムラサキ飼育ゲージで蝶や蛹を観察した後、初谷溪谷の広場で蝶を放ちました。手の平から蝶が舞うたびに、子どもたちからは「わ～っ。」という歓声が上がりました。放蝶に協力してくださった小嶋さんは「このような体験を通して、植物や動物の命を大切にすることを育んでもらいたい。」とおっしゃっていました。

